

[参考事項]

成果情報名：秋田県南部における赤肉リンゴ「ローズパール」、「ルビースイート」の品種特性

研究機関名 果樹試験場 品種開発部

担当者 照井 真・原加寿子 他1名

[要約]

県南部におけるリンゴ新品種「ローズパール」の成熟期は10月上旬、「ルビースイート」は10月中旬である。いずれも果肉色が赤い品種であるが、県南部では果肉の着色程度に年次間差が大きいため適応性は低い。

[キーワード]

リンゴ・品種・果肉色・「ローズパール」・「ルビースイート」

[普及対象範囲]

県南部リンゴ栽培地域

[ねらい]

県内のリンゴ生産は生食用品種が主体であるが、近年、加工を目的とした品種の導入が増えつつある。

そこで、農研機構果樹茶業研究部門が育成した果肉が赤いリンゴ品種「ローズパール」と「ルビースイート」の県南部での適応性を検討する。

[成果の内容及び特徴]

- 1 開花期は、「ローズパール」は「ふじ」と比較して2日程度遅く、「ルビースイート」はほぼ同時期である(表1)。
- 2 「ローズパール」の成熟期は、県南部で10月上旬である。果重は400gを超える大果で、果皮は緑黄色だが一部薄い赤色に着色する。果形は扁円～円で果実の揃いは中程度、サビは少なく、つる割れもみられないが、心かびの発生がやや多い。糖度は「ふじ」と同等だが酸度が0.50～0.66g/100mlと高く、酸味を強く感じる。また、果肉の着色面積は、横断面で53～26%とやや少なくなかつ年次変動が大きい(表2、写真1)。
- 3 「ルビースイート」の成熟期は、県南部で10月中旬である。果重は500～700gと極めて大果で、果皮色は赤だが色調がやや暗い。果形は扁円から円で果実の揃いは中程度、サビやつる割れ、心かびの発生は少ないが、年によりみつ症(外みつ)が発生する。糖度が13.3～16.1%、酸度が0.37～0.42g/100mlとやや酸味が強い印象を受ける。また、果肉の着色面積は横断面で33～80%と「ローズパール」以上に年次変動が大きく、同一年に収穫した果実の個体間差も大きい(表3、写真2)。

[成果の活用上の留意点]

- 1 「ローズパール」のS遺伝子型は S_1S_3 、「ルビースイート」は S_3S_9 であり、「ふじ」(S_1S_9)の受粉樹として利用できる。
- 2 本品種の苗木は、果樹苗を取り扱う種苗会社から購入可能である。

[具体的なデータ等]

表1 「ローズパール」、「ルビースイート」の初期生態

品種	樹齢/台木	発芽	開花	満開
ローズパール	4年/ちなつ/マルバカイトウ(高)	4月7日	5月6日	5月10日
ルビースイート	4年/ちなつ/マルバカイトウ(高)	4月5日	5月5日	5月8日
ふじ	39年/マルバカイトウ	4月6日	5月4日	5月8日

※平成29年～令和元年の3か年平均

※樹齢は平成29年時点、(高)は高接ぎ

表2 「ローズパール」の果実品質

調査年	収穫日	果重 (g)	硬度 (lbs)	糖度 (Brix%)	リンゴ酸 (g/100ml)	デンプン ^z (指数)	赤道横断面 着色面積(%) ^y
平成29年	10月13日	480	15.1	15.3	0.54	1.7	53
平成30年	10月10日	306	15.7	14.1	0.66	1.4	44
令和元年	10月8日	454	12.2	14.4	0.50	1.6	26

z : ヨードカリ反応による指数(5 : 全面染色~1 : 染色面積10%以下、0 : 染色なし)

y : 果実横断面に占める赤色果肉の面積割合

表3 「ルビースイート」の果実品質

調査年	収穫日	果重 (g)	硬度 (lbs)	糖度 (Brix%)	リンゴ酸 (g/100ml)	デンプン ^z (指数)	赤道横断面 着色面積(%) ^y
平成29年	10月24日	572	15.0	16.1	0.42	2.7	47
平成30年	10月16日	565	12.4	13.8	0.41	2.8	80
令和元年	10月8日	747	11.5	13.3	0.37	2.5	33

z、y : 表2に同じ



写真1 「ローズパール」の外観と果肉の着色程度



写真2 「ルビースイート」の外観と果肉の着色程度

[その他]

研究課題名 : 果樹産地再生の基盤となる新品種の育成と選抜

研究期間 : 平成26年度～令和元年度

予算区分 : 県単